

受領 令和5年3月1日 9時53分

通告番号(1)1/3

令和5年3月1日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
國吉雅和 印

一般質問通告書

第524回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨

答弁を求める者

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 3回目と4回目の全人口あたりのワクチン接種率を読谷村と沖縄県と全国で求める。
- (2) 60歳以上の4回目と5回目のワクチン接種率を読谷村と沖縄県と全国で求める。
- (3) 読谷村と沖縄県と全国の陽性者数を累計で求める。
- (4) 新型コロナウイルス感染症による死亡者数を読谷村と沖縄県と全国で(2020年・2021年・2022年・2023年1月～)それぞれ求める。
- (5) 新型コロナウイルス感染症で、予定している国の新たな指針の説明を求める。
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年2月17日に「読谷村新型インフルエンザ等対策本部条例」に基づき、これまでに例のない新たな感染症における村内の感染拡大防止に向けて、対策本部を立ち上げました。今日までの経緯を記録整理することにより、今後の対策や新たなパンデミックに活かせるかと考えるが答弁を求める。

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>2 第 522 回 12 月定例会「ぬちぐすいフェスタ 2022」の一般質問について</p> <p>(1) 年齢階級別人口の伸び率の推移を全国と読谷村で求める質問に対し、2045 年には読谷村は、全国より介護状況は厳しい状況が予想される答弁でした。その根拠は 2020 年の人口割合を 100 としての数値比較答弁でした。より具体的(見える化)に人口数での説明を求める。</p> <p>(2) 読谷村の介護の状況は全国よりさらに厳しい状況が将来予想されることに対して、長期的な施策を含め村民に啓蒙を促す必要を求める。</p> <p>(3) 介護予防講演会での講師への質問と講師答弁の要約を求める。</p> <p>(4) 2022 年 10 月 1 日から 75 歳以上が加入する後期高齢者医療制度で、原則 1 割となっている窓口負担が新たに 2 割負担の枠が設けられた。村の該当者は加入者の何割で何人か求める。</p>	
<p>3 放課後児童クラブ(学童)の現状について</p> <p>(1) 公設民営、民設民営の各学童クラブ単位(施設ごと)の利用人数を学年ごとに求める。また各学童クラブ単位(施設ごと)での待機児童数を学年ごとに求める。</p> <p>(2) 沖縄県の平均利用率と読谷村の利用率及び北谷町、西原町、南風原町、八重瀬町、南城市で利用率を求める。</p> <p>(3) 施政方針から令和 5 年度は古堅学童クラブの新設と民間学童クラブ 1 施設の運営補助を行うとあります。新年度からの開設か、またそれ以降の学童クラブ施策を求める。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>4 読谷西部土地改良事業は平成 18 年 7 月に事業完了しました。非農用地区域の取り扱いは、旧非農用地組合において非農用地区域全体を除外するのではなく、農用地除外の手続きを個別の事案ごとに対応する取り決めでした。その後平成 28 年 7 月に旧非農用地組合の関係者から非農用地区域の取り扱いについて、農用地除外の要請があり、今日に至っています。</p> <p>(1) 直近の既建築・建築途中・建築申請件数をそれぞれ求める。</p> <p>(2) 第 484 回平成 31 年 3 月定例会と第 510 回令和 3 年 9 月定例会で「田園地区として考えられているこの地区が、用途がないままに白地となると、いろんな建物が建つおそれが出てきますので、第一種低層住居専用地域の用途をかけていきたい」との答弁でした。当該地区が第一種低層住居専用地域となるのはいつの日か説明を求める。</p> <p>(3) 第一種低層住居専用地域の主な規制の説明を求める。</p>	
<p>5 第 522 回令和 4 年 9 月定例会陳情第 1 号「波平ビーチ沿い環境保全地域にグランピング宿泊施設建設の実現に関する」陳情について</p> <p>(1) 陳情にある開発行為の計画を行政は把握しているか、また第 410 回平成 24 年 9 月定例会で不採択となった陳情の場所は波平大当原 2337 番地、2260 番地 3、2346 番地であり、陳情第 1 号の場所は全く違うのか説明を求める。</p> <p>(2) 陳情者の要請にはどのような問題や課題があるか説明を求める。</p>	